

諏訪小だより

令和7年10月31日
多摩市立諏訪小学校
校長 斎藤 幸之介
11月号

シジュウカラの言葉ーあるテレビ番組が伝えてくれた「新しい学問」から

校長 齋藤幸之介

改めまして、10月28日(火)に行いました運動会には御理解と御協力を賜りましたことに深く感謝を申し上げます。

はビとうジ学
私レ貴よシジ学
日(月)木家た
日屋鈴検され
27部。探ました。
月のた。引きと
10歳ましを研ま
いた。「りま味のり
つにおい興鳥か
ありてのう分
とてぶ観し私いが
休しを演がとど
代久)出ちこ
て、列が立ラう
で、系方で力い
き、自朝いなユ者

鈴木俊貴先生と「シジュウカラ」

駆にした。者生ました。書まなでし。はし名ましま。私入著今じ。購に、にをでにを。ぐ籍す時分す書、同自分。後のりとた。生おる。先つてか。寶わ木つ分なかつた。終鈴ながんがんでにとて。組組みこして。番こ積る。け平ある。認識

鈴木俊貴先生の幼少期

徳子の部屋では、上記の木カブと生トビは「ムシ」とは結話され、「ムシ」とは付されません。この先ブリの木カブと生トビは「ムシ」とは付されません。

れグしかすえに学こ。なの勤こ
かネ告ま換頭のうたに山通のかけ
書ガ報たれきのでいしけ。のこかけ
とコに供さ書生まとまかす間、つ
」が様子答を先れ、いつては、とき。
いシ母返方木こだやきう5生つ。わ
なムおなうの鈴「んしつそ復先もます
けトんど鑑。けいつる往木をい
負ブ見さ、図す。続いおをあは鈴味を
も力を皆ら「でりてと味が様。興^{ハシマ}
にてと、たはう残つ」興^{ハシマ}父です。にや
虫前こつて答そがやるが居^{ハシマ}おで
にのたさあ返た葉ちいる生^{ハシマ}転、う観^{ハシマ}つしを
ん目れ。がのつ言えて先生^{ハシマ}、越^{ハシマ}そのお^{ハシマ}お^{ハシマ}
ど、ら。告様だの換^{ハシマ}つ木に、越^{ハシマ}だ物と
らが、べ。告母^{ハシマ}そきや鈴^{ハシマ}つ^{ハシマ}の生き^{ハシマ}、の後^{ハシマ}
だかた食ううおい後書今、一引^{ハシマ}た生^{ハシマ}つ。さ以^{ハシマ}を^{ハシマ}たにしがつ
強てモたらかなは問とまつ方をとな

鈴木先生はこうもおっしゃっています。「僕の大好きな生き物の観察がそのまま学問になっている。百年前に生まれたら“遊び”と言っていたかもしれないが、今では“学問”なのである。学者になれば、一生好きな動物の観察をして過ごしていくかるかもしれない。この時代に生まれてよかったです。」

謹訪つ子のこれからと私たち
このお言葉を読みながら、ふと本校の子
供たちの未来について考えて、私共は何ができる
わっている大人として、のだろうか、などと。

「徹子の部屋」の最後に、鈴木先生が飼われている犬の「くいちやん」と、横にありました。写真には、一いちまるのだけ続ければ、犬にかがむ鈴木先生の姿がありました。どう見えますか? 「くうか」と、「同じ目線になつて」観察をします。ついで研究をしていました。

<参考>

「僕には鳥の言葉がわかる」 鈴木俊貴 小学
館（2025年）

「動物たちは何をしゃべっているのか？」 山
極 壽一 鈴木俊貴 集英社（2023年）

『徹子の部屋』“鳥の言葉がわかる”若き研究者
「世界にも衝撃を与えたみたいで…」視聴者興奮「すごい！」&黒耀「この人にノーベル賞を」
yahoo!ニュース 10月 28 日付

「運動会」

先日は御多用の中、本校の運動会を御参観いただきまして、誠にありがとうございました。

今年は雨天により2度の延期となりましたが、表現運動や短距離走、団体競技ではどの学年の子供たちも一生懸命取り組みました。全校競技の大玉送りは、学年の垣根を越えて協力をする姿が素晴らしいかったです。また、高学年は上級生としての自覚をもって係ごとの準備を行い、運営を支えていました。

PTA 本部の皆様をはじめ、多くの保護者の方に御理解と御協力をいただきましたことに、心から感謝申し上げます。

運動会実行委員長

「3年 スーパーマーケット見学」

3年生は10月10日（金）に社会科「わたしたちのまちのしごと 商店の仕事」でグルメシティ多摩店の見学に行きました。

スーパーマーケットで働く人たちは、多くのお客さんに来てもらうためにどのような工夫をしているのか、という問い合わせをもって見学をしました。当日は売り場での工夫を探したり、バックルームを見学したりしました。見学の中でお客様に喜んでもらえる工夫、安心して買える工夫、便利に思ってもらえる工夫などを見付けることができました。

これからも実際に経験することで社会科の学習を深める活動をしていきます。

第3学年担任

「永山フェスティバル」

諏訪小学校プラスバンド部は、4月に26名の新入部員を迎え、総勢59名で活動しています。「響け！輝け！諏訪ハーモニー」を目標に、音の重なりを意識して日々練習に励んでいます。6月には校内で「新人デビュー演奏会」、7月にはたましんRISURUホールで行われた「多摩地区小学校管楽器演奏会」に出演し、練習の成果を発揮しました。

9月20日（土）グリナード永山にて行われた「永山フェスティバル」では、オープニングセレモニーで演奏しました。運動会の行進で演奏する「大脱走のマーチ」をはじめ、「SING, SING, SING」や「銀河鉄道999」など、ジャズや歌謡曲といった様々な曲に挑戦しました。

今後とも明るいサウンドをお届けできるよう、活動してまいります。応援をよろしくお願ひします。

プラスバンド担当